

令和6年度 狭山市立入間川中学校 学校関係者評価

※【評価の目安】 A:良くできている。 B:概ねできている。 C:あまりできていない。 D:できていない

領域	番号	評価項目	自己評価		学校運営協議会委員の意見
			評価	説明	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・学校経営方針や重点目標、学校の様子については、学校公開や学校だより等で発信を継続した。保護者アンケートの結果は88.9%(A+B)であった。 ・入間川中が好みと答えた生徒は平均で92.2%(A+B)であった(3年は97%、2年92.5%、1年86.7%)。学校行事を通して自主性を伸ばすという本校の強みを検証し、CやD評価の生徒にも心を配って教育活動に取り組む。	・まずは、生徒が学校生活を楽しくと感じてもらうことが大切だと思ふことから、学校が好みとの回答が高いことは良いと思う。 ・目標に関しては明確である。多くの生徒は楽しくと感じ教職員の方々も教育活動に取り組んでおられる。しかし、少数の楽しく思えない生徒を如何にすい上げるかが課題かと考える。清掃などについては、教職員も一緒に積極的にやられている。草取り、ツタなどの清掃もやられているが、素人ではできないこともあり、行政として行う部分もある。施設は、修繕など行き届いている。設備という面では、電子黒板などの設備が今後必要かと考える。
	2	生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	A	・少ない教職員数ではあるが、生徒の支援に力を惜みず皆で協力して取組もうとする雰囲気がある。今後も情報共有の重要性を忘れることなく円滑な教育活動を展開する。 ・清掃は無言清掃とし、A+B=97.6%の生徒が一生懸命出来たと回答した(教職員評価A+B=100%)。3年生のリーダーシップによる無言清掃交換留学キャンペーンの効果により高評価となった。今後も自主性の向上を目指し、心にひびく指導を工夫する。	・草取り、ツタなどの清掃もやられているが、素人ではできないこともあり、行政として行う部分もある。施設は、修繕など行き届いている。設備という面では、電子黒板などの設備が今後必要かと考える。 ・学習支援室を1階にした方が、より利用しやすくなる。新入生を迎えるにあたって、小学校と今以上の情報交換をする方が良いと思う。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	・地域(学校運営協議会・PTA・おやじの会)の協力を得て、除草や樹木剪定等ができていことに大変感謝している。教職員は定期的に安全点検を実施し、施設・設備の老朽化に伴う修繕もあるが、迅速に対応している。今後は、生徒も巻き込んで安全を高めたい。	・正門横のフェンス沿いの除草(桑の木・ツル等)について、春から計画的に学校運営協議会でも取り組んでいく必要があると思います。瑕疵による事故がないよう定期・日常・臨時の点検をお願いします。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A	・地域(学校運営協議会・PTA・おやじの会)の協力を得て、除草や樹木剪定等ができていことに大変感謝している。教職員は定期的に安全点検を実施し、施設・設備の老朽化に伴う修繕もあるが、迅速に対応している。今後は、生徒も巻き込んで安全を高めたい。	・入間川中学校に行くと、掃除の時間に生徒たちがきちんと掃除する姿をみて、学校をきれいにする様子が伺えた。
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A	・保護者からは、分かりやすい授業についてA+B=72.8%であるが(昨年度よりマイナス0.7%)、生徒の「学ぶ内容がわかった」の項目はA+B=29.1%であり、保護者と生徒の捉え方に差があった。保護者の希望に沿った学習内容となるよう授業改善していく。また、生徒と保護者のコミュニケーションが希薄化が心配される。	・中学生ともなると、保護者が自分の子どもの学校でのことを把握しきれないこともあると思われることから、保護者の「わかりやすい授業」の評価よりも、生徒自身の「学ぶ内容がわかった」の評価が高いことのほうが評価できる。 ・授業での工夫はされていると感じている。落ち着いた課題は学年によるばらつきはあるが、取り組みは評価できる。課題としては、授業の速度において、多数の生徒に合わせた速度となることは、やむを得ないが、理解の遅い生徒、逆に早い生徒などへの対応などが求められていく。落ち着いたゆっくりと学習ができる場の提供、多様な(わからないところからのリスタートできる)学習ができる場の確保が必要となっていく。ポランディアなどの積極的な活用が求められる。
学習	6	教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	・保護者からは、分かりやすい授業についてA+B=72.8%であるが(昨年度よりマイナス0.7%)、生徒の「学ぶ内容がわかった」の項目はA+B=29.1%であり、保護者と生徒の捉え方に差があった。保護者の希望に沿った学習内容となるよう授業改善していく。また、生徒と保護者のコミュニケーションが希薄化が心配される。	・先生方の授業に対する普段の取組みと真摯な姿勢が結果に結びついていると思います。これからもお願いします。生徒のアンケートでは、46名の生徒が答えていません。不登校であれば温かく見守り様子を見て支援してください。 ・スマホの使用時間が長く、目、体の成長、寝不足、学力に影響を及ぼしている。先生方からではなく、生徒たちにもスマホのルールについて議論させ考えさせても良いのでは。保護者に家庭学習の必要性をスクリーンで伝えてはどうですか。
	7	生徒は、落ち着いた学習に取り組んでいる。	A	・生徒は落ち着いた授業を受けている。県学調の結果は、1・3年生が県平均を上回る結果であった。さらに「学力の伸び」においては県平均を上回る領域が多く、少数指導や学習・放課後学習会など学習支援の成果がみられた。3年の全国学調の結果は、国語・数学において、全国平均を上回る結果となった。質問紙から、1年生は「学習規律の定着」に課題、2年生は「計画を立てて学習をすることが課題である。3年生は県や全国に比べ、スマホの使用時間」が長いことが課題であり、家庭と連携してルール等を考えていく。	・先生方の授業に対する普段の取組みと真摯な姿勢が結果に結びついていると思います。これからもお願いします。生徒のアンケートでは、46名の生徒が答えていません。不登校であれば温かく見守り様子を見て支援してください。 ・スマホの使用時間が長く、目、体の成長、寝不足、学力に影響を及ぼしている。先生方からではなく、生徒たちにもスマホのルールについて議論させ考えさせても良いのでは。保護者に家庭学習の必要性をスクリーンで伝えてはどうですか。
	8	生徒は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A	・家庭学習の取組向上のため、自主学習ノートに取り組んだ。計画的な家庭学習の取組への生徒評価はA+B=74.8%(昨年度よりプラス2.2%)。今後は、タブレット端末を活用し、eラーナリー(オンライン自主学習ソフト)による、自主学習形態も整備していきたい。	・先生方の授業に対する普段の取組みと真摯な姿勢が結果に結びついていると思います。これからもお願いします。生徒のアンケートでは、46名の生徒が答えていません。不登校であれば温かく見守り様子を見て支援してください。 ・スマホの使用時間が長く、目、体の成長、寝不足、学力に影響を及ぼしている。先生方からではなく、生徒たちにもスマホのルールについて議論させ考えさせても良いのでは。保護者に家庭学習の必要性をスクリーンで伝えてはどうですか。
	9	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	B	・英語の授業では積極的にコミュニケーションの場を設定するとともに、ALTの学習支援、少数指導を展開した。	・先生方の授業に対する普段の取組みと真摯な姿勢が結果に結びついていると思います。これからもお願いします。生徒のアンケートでは、46名の生徒が答えていません。不登校であれば温かく見守り様子を見て支援してください。 ・スマホの使用時間が長く、目、体の成長、寝不足、学力に影響を及ぼしている。先生方からではなく、生徒たちにもスマホのルールについて議論させ考えさせても良いのでは。保護者に家庭学習の必要性をスクリーンで伝えてはどうですか。
	10	生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A	・「あいさつ」の項目では生徒A+B=97.6%と自己評価が高く、教職員もA+B=94.4%であった(昨年度よりマイナス0.6%)。地域の方から生徒にあいさつされてうれしいという声もいただいたことがある。どの場面を切り取るかにより評価も変わるが、さわやかなあいさつを自分からできる生徒の育成を目指す。	・先生方の授業に対する普段の取組みと真摯な姿勢が結果に結びついていると思います。これからもお願いします。生徒のアンケートでは、46名の生徒が答えていません。不登校であれば温かく見守り様子を見て支援してください。 ・スマホの使用時間が長く、目、体の成長、寝不足、学力に影響を及ぼしている。先生方からではなく、生徒たちにもスマホのルールについて議論させ考えさせても良いのでは。保護者に家庭学習の必要性をスクリーンで伝えてはどうですか。
規律ある態度	11	生徒は、進んであいさつをしている。	A	・「あいさつ」の項目では生徒A+B=97.6%と自己評価が高く、教職員もA+B=94.4%であった(昨年度よりマイナス0.6%)。地域の方から生徒にあいさつされてうれしいという声もいただいたことがある。どの場面を切り取るかにより評価も変わるが、さわやかなあいさつを自分からできる生徒の育成を目指す。	・小学校などでは、「あいさつ」に関する評価があまり高くはないところも見られ、これは、コロナによる影響も大きいと感じていますが、「進んで挨拶をする」の評価が高く、地域からの声をいただくことがあるとことで、先生方の指導の賜物もあるかと思ひますが、素晴らしいと思います。
	12	生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	B	・保護者からは礼儀、清掃、時間等の基本的な生活習慣の育成について評価がA+B=84.8%であった(昨年度よりマイナス7.3%)。教職員からも毎年高評価を得ており、基本的な生活習慣の育成に関しては、家庭、地域とともに連携して取り組んでいく。	・すれ違うときの挨拶はきちんとできている。言葉遣い、時間、規律などは守られている。清掃時の教員の方々も積極的にやられており、規範意識は高められている。
	13	生徒は、時間を守って生活している。	A	・生徒は決まりを守り、落ち着いた学校生活を送ることができている。仲間を大切にす意識も高い。また、多くの生徒は将来に対する夢や希望を持っている。教職員の働き方改革により、行事のスリム化が進む中、実施可能な学校行事を行うことで、生徒の達成感や自己有用感の高揚につなげたい。今後も可能な限り、生徒が主役となる指導を継続していく。	・「規律ある態度」における先生方の評価が『B評価』が少し目立つようすが。校内では、子供たちが元氣な自然挨拶をしてくれます。学校全体が子供たちにとって温かいのと先生方の指導ですね。
	14	生徒は、きまりを守って生活している。	A	・全教職員がチームとして、礼儀指導(あいさつ)、清掃指導、時間を守る指導に臨むなど、凡事徹底を意識して実践している。	・校内に入った時も、生徒がきちんと挨拶ができており、良いと思う。日常の基本的な生活習慣は、学校より家庭での指導が重要である。行事のスリム化も良いが、生徒に自主性を持たせ、生徒主導で行事を行わせても良いのでは。
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	・全教職員がチームとして、礼儀指導(あいさつ)、清掃指導、時間を守る指導に臨むなど、凡事徹底を意識して実践している。	・入間川中に行くと、元気に挨拶してくれる姿をみて、一人ひとりの意識が高いことが伺えた。
健康・体力	16	学校は、生徒の体力を高めている。	A	・今年度も「心と体を鍛える」という目標をもち、長距離走(全身持久力向上)に力を入れて取り組んだ。校内ロードレース大会に向け、体躯の授業を中心に、生徒たちの自主性のもと、持久力向上に努めた。	・生徒たちの自主性のもと、持久力向上に努めたことは素晴らしいと思います。説明にもありますように、受験期であるため、家庭のみならず、学校でも生徒たちの健康面に留意していただきたいと思ひます。
	17	生徒は、体育や健康増進の実践に意欲的に取り組んでいる。	A	・コロナ前の生活が戻り始めたが、今年度はインフルエンザ等が流行した。本校においても、12月に学級閉鎖等により、感染拡大を防止する状況があった。特に1・2月は、3年生の受験期でもあるため、健康観察、手洗いと消毒、換気など指導を継続している。	・ロードレースでの体力づくり、給食での食育も考えられている。しかし、朝から生気のない生徒もいる。家庭環境が関係するのだろうか、朝食を取れていない生徒がいるかどうか、きめ細かい健康管理が今後必要となると考える。
	18	生徒は、健康を意識した生活をしている。	B	・食育推進については、給食センターの栄養士を招聘し「栄養教室」を実施することや給食指導を通して、食に対する意識を高めている。	・食育は、非常に重要で、脳や健康な体作りが必要で機会があることに指導してほしい。 ・体力向上委員会や保健委員会の取組みが組織的に行われ、成果を上げているのは先生方の頑張りです。4月からの新年度に向け、良いものを繋げていってほしい。
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	・情報提供に関する保護者関連評価項目ではA+B=88.9%であった(前年よりマイナス2.6%)。可能な範囲で学校行事等の保護者への公開が実施できた。また、学校だより、HP、スクリーン、さやまっ子緊急メールなどを使用して、学校の情報を積極的に配信できた。	・学校運営協議会を通じて、PTA、自治会等と情報交換ができてい。地域に退職等で埋もれた人材(英語、数学など)の活用をいろんな団体との協力で活用することが求められる。学校運営協議会を通じて活用し、教員の過労の解消に努めていただきたい。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	・地域の行事である鶴ノ木祭り、赤間川清掃、入間川百人一首大会に多くの生徒がボランティアとして参加した。また、地域の方々との協力による学校の環境整備も実施できた。特に体育祭に向けての除草作業に、おやじの会や多くの地域の方が協力してくれた。	・1月に行われた「入間川地区百人一首かるた大会」では、多くの生徒が運営に携わり、大会を成功させることができました。 ・学校からのきめ細かな情報提供に、日頃より目を通すよう、年度当初の保護者会等で周知徹底してください。主に鶴ノ木祭り、赤間川清掃等では地域の協力がありました。これは入間川中を取り巻く地域の素晴らしいところでもあります。と同時に先生方の協力や子供たちの頑張り感謝します。